

「脱原発」を考える市民講座・四日市



活動紹介

■活動場所

- ・四日市公害と環境未来館 活動室 ・中部地区市民センター等

■活動日、活動頻度等

活動は不定期です。今年度は、脱原発を訴える四日市市民の集いととの共催で行った取り組みを中心に以下のようなものです。

■活動内容など

- ・今年も、さようなら原発三重パレードの賛同団体となり、初めて四日市で開催されたこともあって、準備会にずっと参加して運営に協力しました。
リレートークでは、311子ども甲状腺がん裁判支援を訴えました。
- ・9月、小出裕章さんの講演会と脱原発を訴えるデモに共催として取り組みました。
- ・12月、じばさん三重で行われた環境フェアに脱原発を訴える四日市市民の集いととの共催で、「四日市でも脱原発を訴えて11年」と題して、写真や資料を展示しました。

代表者の想い

四日市公害裁判の原告側証人の一人であった宮本憲一さんの「福島原発事故は、史上最悪最大の公害である」という言葉と共に、四日市公害の歴史と教訓を基にしながら、3.11フクシマを忘れずに活動をしていきたいと思えます。

PR

11月のエコパートナー委託事業第2回募集には間に合わなかったのですが、福島原発事故「処理水」の海洋放出問題についての講演会を、来年度には改めて応募して実現したいと思っています。

